

開催概要

全国伝統的建造物群保存地区協議会 町並み保存技術研修会 2007金沢

1. テーマ 伝統的建造物等の修理・修景技術の向上と技術継承の実践

2. 開催趣旨

「伝統的建造物群保存地区」（以下「伝建地区」という。）保存制度が誕生し、30年以上が経過した今日、この制度が歴史的集落や町並みの保存にとどまらず、地域の個性ある「まちづくり」を進める有効的な手法として認識され深化してきている。また、各地で歴史的建造物が再評価され、それを核とした「まちづくり」が活発化している。

これら各伝建地区内の建造物や歴史的建造物は、それぞれ保存修理・修景事業が進められ活用が図られているが、伝統的な建築技術を用いる場が少なくなってきた現在、様々な問題点を抱えていると言わざるを得ない。このような問題点は、各地区で修理・修景事業に携わっている建築士や大工・左官等の技能者の方々の努力により少しずつ解決されている。しかし、情報交換の場も少なく各自の技術的能力や経験に負っているのが現状である。また、市町村等の行政担当者も保存修理の知識を共有しなければ、十分な対応をすることができないのではないだろうか。

このことから、全国伝統的建造物群保存地区協議会では、各伝建地区における技術者及び行政担当者等を対象に、町並みを構成する建造物や歴史的建造物の保存技術の向上に資することを目的に研修会を行う。今年度は中部・北陸ブロックにおいて、金沢市を会場に第4回目の研修会を開催する。

3. 主催 全国伝統的建造物群保存地区協議会・金沢市・金沢市教育委員会・町並み保存技術研修会 2007金沢実行委員会

4. 後援 文化庁・石川県・石川県教育委員会・(社)金沢職人大学校

5. 会場 金沢市民芸術村、金沢職人大学校 東山ひがし伝統的建造物群保存地区、主計町伝統的建造物群保存地区

6. 対象 伝建地区等の保存修理に関わる建築士・大工等の技術者・技能者、伝建地区関係行政担当者、伝建地区住民、学生等

7. 日 程

9月29日(土)

会場：金沢市民芸術村 パフォーミングスクエア、里山の家、金沢職人大学校
(金沢市大和町 1-1-1)

- 13:00 受付開始
- 13:30～13:40 開会行事
・主催者挨拶 (金沢市長 山出 保)
・来賓紹介
- 13:40～13:50 金沢職人大学校の紹介 (理事長 小堀為雄)
- 13:50～14:20 基調講演「金沢の歴史遺産の保存とまちづくり (仮題)」
講師 平井 聖氏 (昭和女子大学国際文化研究所所長)
- 14:20～14:50 講義「最近の伝建地区を取り巻く状況と課題 (仮題)」
講師 林 良彦氏 (文化庁参事官付文化財主任調査官)
- 14:50～15:10 事務連絡、会場移動、休憩
- 15:10～17:30 分科会にて議論 講評：文化庁林主任調査官
分科会Ⅰ：伝建地区における保存修理と活用のこれからの方向性
～職大と金沢町家研究会の事例に学ぶ～
於：職大新研修室
分科会Ⅱ：伝建地区の防災について
～建物の安全・地区の安全を確保するために～
於：里山の家
全体会：各分科会での成果発表と文化庁による講評
於：パフォーミングスクエア
- 17:30～18:00 金沢職人大学校・金沢市民芸術村施設見学
- 18:30～20:00 意見交換会 (れんが亭)

9月30日(日)

会場：東山ひがし重伝建地区、主計町伝建地区

- 9:30～11:00 職大集合、伝建地区見学 (伝建物修理工事現場見学も予定)
- 11:00～11:30 閉会行事
・保存技術研修会のまとめ (文化庁)
・閉会挨拶
- 11:30 研修会終了
- (以下オプション 旧江戸村施設見学会)
- 11:30～12:30 昼食 (希望者は弁当)
- 12:30～13:00 バスで湯涌へ移動
- 13:00～15:30 旧江戸村施設移転地 見学
茅葺き農家群、重文旧石倉家住宅・県文旧山川家住宅修理現場見学予定
- 15:30～16:00 バスで移動
- 16:00 解散 (片町・金沢駅など適宜停車)

黒島地区まちづくり協議会 視察参加報告

参加者 5名

川端一人（協議会会長）、堺 清一（協議会副会長）、湊 良作（協議会役員）、
中谷忠正（協議会委員）、升潟 修（協議会委員）

写真

全体会会場パネル展示



分科会の様子



主計町での視察の様子



旧江戸村施設の修復現場の見学

